

1. 研究のテーマ

介護認定を受けている患者の退院支援の現状と今後の課題について

2. 研究の背景これまでの研究の概要

高齢化率 45.5%を超える国東市において、当院の入院患者に占める 65 歳以上の割合も 8 割と多い。家族構成や患者の病態、ADL の状況によって、介護保険サービスの利用をする患者は多数おり、退院先も自宅や施設等様々である。

これまで、当院の退院支援において、十分な分析が行われていない現状がある。

3. 研究の目的

介護認定を受けて退院した患者(入院前から認定を受けている患者も含む)の退院先やサービス利用の内容を分析し、現状の退院支援の問題点や今後の課題を見出していく。

4. 研究の方法

当院からの退院患者(地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟)で、介護認定を受けて退院した患者のうち、退院時にサービス調整を行って退院した患者の分析を行う。(性別、年齢層、疾患、入院前環境、退院先、介護度、利用サービスなど)

5. 調査期間・対象

期間：令和元(平成 31)年度～令和 4 年度

対象：地域包括ケア病棟・回復期リハビリテーション病棟からの退院患者

6. 研究責任者

元) 地域医療連携室長 長木 るり子 (現：3 病棟師長)